

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 会社の理念を踏まえて、事業所開設時に理念を掲げています。毎月のユニットミーティングのレジメに記載して、意識できるようにしています。 | 玄関や地域交流スペースに事業所理念を掲示している。ユニットミーティングのレジメ冒頭にも記載され、読みあわせを行ったりしながら理念がケアに反映されているかを確認している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | コロナ禍以前は地域交流スペースを地域に開放していましたが、現在は交流を控えています。回覧板を配布していただき地域の情報を得ています。 | コロナ禍のため、以前のような交流は難しい現状であるが、近所の保育園児の姿が見えると、窓際から笑顔で手を振り挨拶を交わしている。自治会長より回覧板が配布され、地域活動の草取りや合同防災訓練等の情報が得られている。利用者の中には興味をもってその情報から会話を繋げている。 | 利用者が地域の一員として交流できる場所や時間等が制限されている現在、事業所としてできる範囲を模索している所である。収束後には、地域との交流をスムーズに開始できる関係性が築かれていくことに期待したい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 開所時は近隣の方から介護や入居に関する問い合わせがあり、助言等行っていました。問い合わせがあった際には説明や案内をしています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1回の頻度で書面開催をしています。ご意見を共有し、面会再開など取り組んでいます。 | 運営推進会議は書面開催となり、各ユニットの家族全員・地域包括支援センター・市の介護支援相談員・自治会長等へは、会議の内容を書面でお知らせしている。家族からの回答については、検討したものを書面報告回答として会議メンバーへフィードバックしている。一つひとつの意見を真摯に受け入れ、事業所のサービス向上に活かしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議に包括支援センター担当者から参加していただいていた。現在は書面開催で連絡をしています。 | 手続きの不明な点等、相談・報告に応じて実直に対応してもらい、何でも相談できる関係性が築かれている。また、リモート研修会の案内等の連絡も行われている。 | |
| | | 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束禁止委員会は2か月に1回で定期開催をしています。社内研修は年2回開催し、意見交換をしながら身体拘束をしないケアに取り組んでいます。 | 全ての職員が、身体拘束をしないケアの実践に取り組めるよう、社内研修を実施している。自宅学習できるようタブレット等を利用してウェブ研修を行っており、レポート提出を通して職員の共通認識を図っている。 | |
| 7 | (5-2) | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体拘束禁止委員会と合わせて、定期開催をしています。社内研修は年2回開催し、意見交換をしながら虐待防止に取り組んでいます。 | 研修会で高齢者虐待防止関連法について学び、職員全員が理解を深めている。また、職員は利用者への言葉かけや対応に、焦りがないか、不適切なケアになってないか等、日常の会話から体調や表情に配慮している。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在、成年後見制度を利用している方はなく、研修を開催していませんでした。今後備えて、学ぶ機会を持てるようにしていきます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 利用パンフレット、重要事項説明書、契約書、個人情報使用同意書、入居時確認事項説明書を説明し、理解していただけるよう努めています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の書面開催において意見を聴取し、オンライン面会の設定や体面での面会など再開に向けて取り組みました。 | 電話連絡や面会時等にも、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。毎月のおたよりには、オンライン面会の様子や日常生活の状況など、また、感染状況と対応等が記載され伝えられている。家族との情報の共有を図ることで、意見を言いやすい工夫している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ユニットミーティングを毎月開催しています。職員とのコミュニケーションを大切にしながら、相談や意見を日常的に聞きながら、業務の見直しなどに取り組んでいます。 | 職員の共用ノートを作成してそれぞれの意見や気づきを記録している。ユニットミーティングに参加できない場合は、事前に意見を聞いたり、メモを活用することで意見を聴取している。現状の課題を検討し合いながら運営に活かしている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている | 会社組織として職員のスキルアップ研修、資格取得など支援体制があります。個々の努力実績や勤務状況などを評価し、就業環境の改善に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部研修を定期的に行っております。全事業所を対象にして、リモート研修に取り組んでいます。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県内にツクイのグループホームが5事業所あり、連絡相談は日常的にしています。他法人との交流はありませんでした。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回面接時には介護支援専門員から事前に情報を得ておき、安心してもらえるように努めています。施設見学に来ていただく方もいます。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 初回面接時は生活歴や現病歴を伺いながら家族の思いや不安を受け止め、事業所に対する要望等を述べやすい雰囲気作りに努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 初回面接時に本人や家族のニーズを把握できるように、アセスメント表を用いて課題分析を行っています。在宅復帰や他サービス利用の必要性があれば関係機関と連絡調整を行います。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 各自の生活能力や得意な事を見極め、家事や軽作業などを一緒に行い、お客様から学んだり、支えあう関係を築いています。 | | |
| 19 | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 担当職員から毎月手紙をお渡しして、ホームでの様子を伝えることによって共に本人を支えていける関係に努めています。希望があれば電話やリモート面会で話をする機会があります。 | 担当職員を中心に、衣替えをしたり本人のこだわりの日常品を揃えてもらったり、本人と家族との関係を大切にしている。一緒に支えるために家族と同じような思いで支援できるよう、毎月の手紙で体調面や生活の様子を伝えている。 | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会制限があることで交流する機会が減少してきましたが、感染者数の減少に合わせて、面会の再開を行っております。 | お盆時期の外出の問い合わせはあるが、今回は自粛してもらっている。家族の受診についても直行直帰を依頼し協力を得ている。不定期で訪問理容の方が来られることもあり、今後、馴染みの人となっていくと思われる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | お客様同士の関係性の把握に努めており、テーブル席に配慮したり、お客様同士でコミュニケーションがスムーズに行えるように必要に応じて職員が関わっています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去された方から現在のご様子などお手紙をいただきました。またお問い合わせがあればいつでも必要なサービスを提供できるようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 初回面接時や日頃の何気ない会話や表情から、個々の要望を把握できるよう努めています。また毎月実施をしているユニットミーティングを通して情報の共有に努めています。ご家族からも情報提供をいただいています。 | 入居時に本人の意向や家族の意向も確認し記録されている。その後、ユニットミーティングの中で情報の共有を図り、利用者の思いや意向に変化がないか、新たな希望はないか等、利用者本位に検討が行われている。 | |
| 24 | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人からの聞き取りで不十分な場合は、ご家族や親戚、ケアマネ等から情報提供を行っていただいています。ツクイの調査票を用いながらご本人が望む暮らしの把握に努めています。 | アセスメント票様式を用いて記入し、その後入居している中で分かったこと等を赤字で加筆している。一人ひとりの利用者について、独自の生活歴やライフスタイル、個性や価値観等を把握しその人らしい生活の支援に努めている。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 状態観察や変化に合わせて、心身の状態や有する能力の把握に努めています。ユニットミーティングでは職員間の情報と課題の共有はできています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | どんな入居生活を望まれていて、その望みを可能にするために出来ることは何かを常に意識しています。電話等で連絡を取り合い意見を参考に計画の見直しをしています。 | 職員はサービス計画に連動したタブレット端末に入力し、日々の様子や情報を見逃さないように配慮しながら、定期的にカンファレンスやモニタリングを行っている。計画作成担当者はコロナ禍の現在、利用者本人の意向を確認し、家族に電話やお便り等で伝えながら要望や意向を伺い、介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | お客様をより深く理解するために、サービス計画書に連動したタブレット入力をしています。情報を共有しながら、カンファレンスや計画書の見直しに活かしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 専門医受診、買い物支援など対応しています。季節感を感じるようなドライブを行っています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | かかりつけ医を継続したり、地域の医療機関と連携しながら支援ができています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の継続や必要時は専門医への受診を支援しています。ご希望があれば協力歯科の訪問診療を受けられるようにしています。 | 受診は利用者・家族の希望や意向を大切にしながら適切な受診が継続できるよう支援している。病院への受診時には、利用者の現在の様子が医療関係者に伝わるよう管理者は丁寧なやり取りを心掛けており、家族からは安心との言葉があった。事業所での定期的なかかりつけ医師の往診や訪問看護師の定期訪問、職員の感染症予防研修、医療面での利用者支援内容への助言をもらい、相談しながら関係づくりを行っている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護ステーションと委託契約を結んでいます。定期的な訪問が週2回あり、日常的に相談が来ています。24時間オンコール対応をしており、体調不良時は連絡相談はしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時はご本人、ご家族の同意を得て介護情報提供書を提出し、退院前には医療機関を訪問し、情報収集を行いスムーズに入居生活へ戻れるように連携を心掛けています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|--------|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 施設の看取り方針を掲げています。契約時に重度化、終末期に対する指針を説明しています。終末期に医師の診断があった時点で、家族の意向を確認し、看取りに係る同意書を交わすこととしています。現在までに対象者はおりません。 | 開所3年目を迎えた事業所であり、重度化した場合や終末期に向けた方針は、契約時に説明し同意書をもらい共有している。今年、終末期を迎えた利用者がおられ、再度家族と話し合いを持ち、希望があったので「重度化した場合の対応に係る指針」に基づき、事業所で出来る看取り支援を家族や地域の医療機関・管理者・職員と共に取り組んだ。その後の職員会議では、今後もチームで取り組もうと経験を学びの基としている。 | |
| 34 | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルを整備しています。AEDは玄関ホールに配置しています。訪問看護より感染発生時対応の勉強会を開催していただいています。 | 急変や事故発生時のマニュアルやフローチャートは整備され、連携している訪問看護師による「緊急時対応」の研修やテキストを使用した職員研修を行っている。事業所玄関にAEDが整備されているが、コロナ等で今年はまだ、実際的なAED操作訓練は行われていないので、今後も継続的且つ定期的な訓練が望まれる。 | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練を定期的に年2回行っています。事業所内で避難訓練をしていますが、地域の方に参加していただくまではできていません。 | 事業所作成の「消防計画」に基づき、年2回の火災時の避難訓練は行われているが、コロナ禍の現在、地域の行事への参加等は行われていない。 | 最近多様な形で災害は起きており、火災を想定した年2回の訓練だけでは、利用者参加での実際の対応が難しい場合も考えられる。今後は、地震や水害時想定等訓練や、地域の方とも連携した訓練を期待したい。また、災害時に全職員がわかる形での「持ち出し物リスト」や「災害備蓄品整備とリスト」作成等を期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個人情報マニュアルを整備し尊厳を支える個別的なケアを提供できるように努めています。排泄ケア時の言葉かけや対応に注意を払っています。記録は目に触れないように配慮しています。 | プライバシー保護に関するマニュアルや研修を行い、排泄・入浴・着替えなどできるだけ言葉かけし「個別ケアの提供」に配慮しながら対応している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の思いや希望を表した際はご家族に協力を依頼しながら支援しています。自己決定が出来るような言葉かけを工夫して環境づくりに配慮しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の生活リズムを尊重し、本人の希望をお聞きしながら支援に努めています。居室で過ごしたい場合はその思いを尊重し支援しています。一人ひとりが孤立しないよう努めています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 訪問理容サービスではシェービングや好みの髪型を個別にお聞きして対応しています。ご自分で着たい服が選べるように衣類をたくさん用意していただいている方もいます。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の盛り付け、配膳、下膳、洗い物、テーブル拭き、手の消毒などご本人のできる力を活かしながら、協力をしていただいています。 | デイサービス・グループホーム共通の事業所食材が届き、調理をしている。利用者はテーブル拭きや盛り付け、その日の献立を書くなど、それぞれ参加できる活動を職員と一緒にしている。職員は、利用者の誕生日などに利用者と共におやつを作るなど、食事を楽しむ環境づくりを心掛け支援している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取量は毎回記録をしています。管理栄養士の定期的な訪問で低栄養リスクの方には補助食事で対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に歯磨きの言葉かけを行い、ご自身でできる方は実施していただいています。訪問歯科で定期健診の対象の方は歯科医師より助言をもらい、口腔ケアを実施しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | リハビリパンツやパットを使用している方には、個別に時間を合わせてトイレ誘導を行い、トイレでの排泄と清潔保持が出来るよう支援しています。 | 各利用者の排泄パターンの把握や見守り等しながら、職員はタブレットに記録し情報共有に努めている。個別の支援と清潔な状態が保てるよう支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | トイレ誘導が必要な方にはトイレに座っていただくようにしています。便秘の方には水分や運動を意識した言葉かけをしています。排便状況を確認して、医療機関、調剤薬局と相談をしています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ご本人の体調や希望を尊重しながら入浴をしていただいています。定期的な入浴で気分転換や清潔保持が出来るよう配慮しています。 | 利用者であまり気分が進まないときには、お手紙を渡してお誘いしたり、入浴を楽しむことができるよう工夫しながらその方に合わせ支援している。浴室は広く清潔に整備されており、ボードやソフト浴など身体状況に合わせ入浴出来るよう配慮されている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 午睡、就寝時間、起床時間については、個々の生活リズムに合わせて言葉かけをしています。必要な方には安心して睡眠が出来るようにお話をお聴きしながら対応しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 配薬ミスをなくすため一包化した薬で名前を読み上げてダブルチェックをしています。処方内容が変更になった場合は申し送りを徹底し、症状の変化に注意し対応しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 生活歴や能力を参考にして、調理、掃除、軽作業、園芸作業等に参加していただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 近隣をドライブしながらお花見に出かけました。外出は自粛するようにしていました。 | 季節の花見やドライブなども行き楽しんでいましたが、暑さ厳しいこの夏は、なかなか外出は難しい日も多かった。空が近くに感じるようなベランダや窓が開放的で、椅子も置かれ、近隣の眺めが良いものとなっている。機能維持や楽しみのためユニット内散歩やテレビ体操・カラオケ等に合わせ歌ったり体操したりしている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お小遣い程度の金銭を所持している人もいます。必要なものは買い物の支援をしています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話希望があればご家族とお話ができるように支援しています。ご家族あての手紙に一筆書き添えていただくこともあります。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 物干し場にベンチを設置し日光浴が出来るようにしています。ホールや廊下には写真等を飾って楽しんでいる様子を眺めることができます。自然光を取り入れ季節毎のお花を飾っています。 | 玄関に入ると室内は明るく清掃され、清潔感を感じる事業所である。管理者は、職員向けの提示物は事務室内に納め、共用の空間は、出来るだけ利用者・家族が季節を感じ、居心地良く過ごせるよう配慮している。ソファやベンチが置かれ、すぐ近くの保育園児の歩く姿を見る楽しさや、空や景色を見て落ち着いて過ごせる時間等、自室や食堂の他に過ごせる空間への配慮が感じられる。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ホール以外にも廊下に長椅子を置いて、いつでも一人や気の合う方同士で座れるようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居される際には、馴染みの家具や品物の他、ご家族等の写真を持ち込んでいただき、安心してもらえうような雰囲気作りに配慮しています。 | 使い慣れ親しんだ自宅から持ち込まれた家具や、家族との写真、思い出のある大切な持参されたものを入居時家族と共に配置している。事業所で作成した作品などもそれぞれ飾られ、安心して過ごせるよう支援している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物全体に手すりが設置されており、安全に移動出来るように配慮しています。また、各居室への名前の表示やトイレの表示の他、トイレと居室の区別がつかず混乱される方には同行し配慮しています。 | | |